

資料番号	9
------	---

令和7年5月21日
課名 商工労働局イノベーション推進チーム
担当者 担当課長 崎本
内線 3346



ひろしまサンドボックス「サキガケプロジェクト」令和4年度採択企業の取組状況について

1 要旨・目的

ひろしまサンドボックスにおける支援プロジェクトの1つである「サキガケプロジェクト」について、県内外の企業、県民に対し周知を図るため、令和4年度に採択した5社の3年間の取組状況を報告する冊子を作成した。

「サキガケプロジェクト」

スタートアップ企業等の商品・サービスの社会実装に向けた事業開発上、障壁となる規制への対応や、新たなルールメイクを試行することが必要となる新たな市場の開拓に取り組むことを目的とした開発実証を実施

2 現状・背景

- 令和2年度から令和3年度にかけて実施した、「D-EGGS PROJECT」では、コロナ禍を契機とした社会環境の変化を踏まえて、新しい生活様式に適応するソリューションの提案を全国から広く募集し、県内外のプレーヤーの共創によるプロトタイプ開発から県内フィールドでの実証を支援した。
- その中から、社会実装を進めるにあたり、障壁となる規制やルールメイクといった課題がある5件を令和4年度から継続して支援している。
- 広島県が「サキガケプロジェクト」を通じて、規制緩和やルールメイクにチャレンジできる環境を提供していることを発信し、更なる企業、人材の集積につなげる必要がある。

3 概要

(1) 事業内容

企業名	活動概要	主な成果
サグリ (株)	衛星データ×AIの農地情報管理システムによる農地流動化	<ul style="list-style-type: none">衛星データによる農地パトロール調査を効率化するシステム「アクタバ」が尾道市農業委員会において実装。農地所有者と担い手をつなげる農地マッチングサービス「ニナタバ」を活用し、尾道市においてマッチング事例を創出。
(株) Mitas Medical	スマホ接続型デバイスによる眼科オンライン検診	<ul style="list-style-type: none">安芸太田病院の人間ドックの基本メニューに導入。広島県内での実証を踏まえ、バングラデシュやインドネシアにおいて商業利用を開始。
(株) ユーリア	スマホアプリで栄養状態を可視化する尿検査キット	<ul style="list-style-type: none">広島県内での実証を通じて生まれた尿検査キットを全国のドラッグストアで販売。医療機器としての検査キット開発を本格的に進めるため、広島市立大学内に開発拠点を開設。
(株) エイトノット	小型EV船の自律航行と海上交通DX	<ul style="list-style-type: none">竹原～大崎上島町間において、自律航行船の商用航行を実現。広島県内での実証の拡大に伴い県内に研究開発拠点を開設。
LOMBY (株)	自動配送ロボットの公道走行と商用化	<ul style="list-style-type: none">リョービMHIグラフィックテクノロジー株式会社(府中市)と協業し、24時間荷物配送実現に向けた実証を実施。

(2) スケジュール

—

(3) 予算額 (単県)

2,004千円 (令和6年度サキガケプロジェクト事務局経費のうち冊子作成分)

4 その他 (県HPリンク)

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/259/sandbox-sakigake.html>